

【様式】

令和元年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立津東高等学校 )

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路希望の実現	<p>○生徒の進路実現に向け、進路ガイダンスや講演会の実施および「進路だより」の活用を通して生徒の進路意識を高めるとともに、進路について主体的に調べたり考える機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター試験の出願が90%以上</li> <li>・国公立大への出願者160名</li> <li>・小論文や各専門分野、職業案内等キャリア関係図書の充実</li> </ul> <p>○総合的な学習の時間等の各種取組を通して、世の中に対して探究心や広い視野を持たせるため、体系的なキャリア教育を実施する。</p> <p>○奨学金制度の紹介や手続きを行い、経済的な面から生徒の進路希望実現の支援を行う。</p> <p>○自己肯定感を育み高めるために生徒の心に寄り添い、進路実現に向けての支援を行う。</p> <p>【1、2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談は年間3回以上実施</li> <li>・大学調べや講演等、進路について考える機会年間 10～15 回以上</li> <li>・模試への計画的な準備と振り返りを毎回実施</li> </ul>	<p>○センター試験は291名(94%)の出願。国公立大の出願は154名。昨年の112名より41名増加した。</p> <p>○2年生は12月と1月、1年生は2月に外部講師を招いてのキャリアガイダンスを実施した。</p> <p>○奨学金については、</p> <p>○学校生活や学習面において躓きを感じている生徒と教育相談室において面談を重ね、今後の高校生活及び進路について話し合った。</p> <p>【1、2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談は2～3回実施。</li> <li>・進路について考える機会は12～14回実施。</li> <li>・模試の準備と振り返りは毎回実施。</li> </ul>	◎

	<p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談は年間5回以上実施し、進路実現の支援に努める</li> </ul>	<p>【3学年】</p> <p>進路関係を中心として5回以上実施した。生徒によってはより頻繁に行った。</p>	
学習環境の整備	<p>○教育課程の問題点を検討し、改善を図るとともにSクラスのあるべき体制を見据え、講座編成や習熟度別授業のあり方について検討し、見直しを図る。</p> <p>○コース別に単位制に関わる授業のあり方について再考し、講座の見直しを図る。</p> <p>○授業時間の確保に努めるとともに、生徒のニーズに対応するよう、放課後・土曜・夏期に補講を開催する。</p> <p>○快適な学習環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇期間には自習室を設置し学習場所を提供する。</li> <li>・机・椅子・教室のカーテンは、適宜交換し環境整備に努める。</li> <li>・より良い学習環境を提供するために、掃除を徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*美化委員による清掃確認:年16回</li> <li>*大掃除(中掃除含む):年8回</li> <li>*ゴミゼロ運動・夏期除草作業・クラブ一斉清掃:年各1回</li> </ul> </li> </ul>	<p>○令和4年度からの新教育課程を意識し、来年度入学生より文系地理講座を無くす</p> <p>○来年度の入学生定員の確定によるSクラスを3クラス120名とし、少人数、習熟度が実施出来るようにする。</p> <p>○Sクラスで少人数や習熟度授業を実施する問題点として時間割変更に対応が困難で自習となるケースがある。</p> <p>○令和4年度からの教育課程の検討開始</p> <p>○年度始めに調査をし</p> <p>て、多くの入れ替えを行った。また、要望があればその都度対応した。</p> <p>清掃確認16回実施(2月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除4回実施(5月、7月、12月、2月 2月10日現在)</li> <li>・ゴミゼロ運動 体育祭実施のため本年度は中止</li> <li>・夏休み中、運動部中心に校舎周辺の清掃を実施していただいた。</li> <li>・花壇の植え替え実施(7月、11月)</li> </ul>	<p>◎</p> <p>※</p>

	<p>【1、2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律の確保</li> <li>・学習記録ノートの活用</li> <li>・平日2時間、休日3時間の学習時間確保</li> </ul> <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動引退後は平日4時間、休日10時間の学習時間確保</li> </ul>	<p>【1、2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律は確保済み。学習記録ノートの継続的活用。学習時間は概ね確保している。</li> </ul> <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受験が近づくに従って目標時間を超える生徒が増加した。3学期には受験者の過半数が目標時間を超えた。</li> </ul>	
<p>自主性・主体性の育成</p>	<p>○LHRや総合的な学習の時間を通して、自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読書等の活動を含め、図書館年間貸出目標 5, 521 冊</li> </ul> <p>○挨拶励行、時間厳守、スマートフォン等の使用マナー遵守など基本的な生活習慣を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員による毎日の登校指導の実施</li> </ul> <p>○学校行事を通して、クラブ・委員会の生徒、教員や地域の人々との出会いを作り出すとともに、仲間と切磋琢磨することでお互いが成長する機会を創出するという観点で、学校行事のあり方を考え、行事を充実させる。</p>	<p>○各学年で必要に応じて適宜行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読書は全校ではなく学年別に実施した。年間貸出目標は達成できた。</li> </ul> <p>○遅刻総数は昨年度と比べ減少したが、中には、朝の定時登校が難しい状況にある生徒もおり、学年、教育相談等と連携した対応が必要である。</p> <p>○スマートフォン等使用マナー違反は昨年度と比べ減った。</p> <p>○登下校マナーに対する苦情は多く、HRでの注意、登校指導場所の変更等も行ったが、集会・HR・登校指導等、あらゆる機会を通じて根気強く生徒へ啓発を続けていく。</p> <p>○生徒会役員の学校をよくしたいという意思を大切に、役員が成長する機会の創出を提供してきた。今年度は各委員会や学校行</p>	<p>※</p> <p>◎</p>

	<p>○LHR、教科、分掌の教育活動において、差別を許さない態度と差別を見抜き、差別解消に向けて主体的に行動する力を育てる。</p>	<p>事の運営、『嶺』の編集を、生徒会役員が主体で取り組むようになった。また、挨拶運動、募金活動等、新たな取り組みを始めるなど役員自身が学校を動かすという意識が増してきている。</p> <p>○1学期、1学年は「かけがえのない私たち～いじめ問題について考える～」をテーマにいじめ防止と望ましい人間関係のあり方について考えた。2学年は「アイヌ民族の若い世代の声から学ぶ」と題し、アイヌの若者を通して自分自身を見つめた。3学年は「反差別の主体者となるために～統一応募用紙から学ぶ～」から、人権を守る取り組みの広がり自分自身の意識について考え、卒業後、しっかり差別を見抜ける人物を目指すことを確認しました。2学期は、「外国人の人権と多文化共生」をテーマに人権講演会とその事前・事後の学習で、「多文化を知り、尊重して、共生社会の実現に向けた実践行動力」の大切さを学んだ。</p>
--	--	---

<p>安全・安心な学校づくり</p>	<p>○実効性のある防災、危機管理教育や訓練を目指して、教育訓練を行う。</p> <p>○他者を思いやり、自律した行動が取れる力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート、個人面談等を活用して「いじめ」の未然防止及び早期発見・早期対応を目指す</li> <li>・他者を思いやる心の涵養をHR や講話、通信等を通じて啓発する</li> </ul> <p>○自らの健康に関心を持ち、主体的に健康な生活を送ることの出来る生徒を育てる。</p> <p>個別の保健指導(視力/口腔の健康など):年2回以上</p> <p>○生徒へのメンタル面での支援のため、スクールカウンセラーをはじめ様々な機関と連携し適切なケアを行う。</p> <p>保健室利用状況の報告と学年との情報交換:年10回</p> <p>教育相談係との連携:年20回以上</p>	<p>○防災訓練を1回、防災教室を1回行った。</p> <p>危機管理教育として薬物乱用防止講座と防止教室も1回ずつ行った。また、性教育講座も1回行った。</p> <p>○いじめアンケート(2回)、SNSに関するアンケート(1回)を実施した。</p> <p>○SNS上のトラブルに関しては、今後も全職員の共通理解のもと、あらゆる機会でアンテナを高くし、見守っていきたい。情報モラルを認識させ、守らせることを徹底させていくと同時に、他者を思いやる心の涵養をHRや講話、通信等を通じて啓発していく。</p> <p>○保健教育として7月に性教育講座(1年生)、AED講習(運動部代表)を実施した。個別では、新学期・修学旅行前・持久走前の保健調査、定期健康診断結果をもとに、保健指導・健康相談を実施した。</p> <p>○日頃の来室者の相談にも多く対応し、必要に応じて教育相談・スクールカウンセラーへ繋げるなどの連携をとった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室利用状況の報告は、毎月行い、関係分掌との情報共有・情報交換はその都度実</li> </ul>
--------------------	---	---

	<p>○いじめや差別を許さず、一人ひとりの個性の違いを認め、互いに尊重することができる仲間づくりをする。</p> <p>○施設の老朽化に留意しながら適切な維持管理を行う。</p>	<p>施した。</p> <p>・学年・保健室・教育相談・スクールカウンセラーで連携をとり、対応できた。情報交換の回数は目標を超えて行われた。</p> <p>○1年生の入学当初に実施したいじめ問題を中心とする調査結果をもとに1年各担任はホームルーム作りに取り組んだ。2学期の人権講演会から、仲間作りからはじめ、お互いが支え合う中で、差別を自分自身の問題としてとらえ、行動力を身につけることの大切さを学んだ。</p> <p>○老朽校舎故、様々な課題が生じているが、適切に対応した。</p>	
<p>自尊感情と社会人基礎力の育成</p>	<p>○今後一層求められる思考力・判断力・表現力、およびコミュニケーション能力の育成と伸長を、授業をはじめ LHR・総合・課外活動等、あらゆる教育活動を通して図る。</p> <p>○どんな場面でも元気よく挨拶ができる態度や状況に応じてきちんとした言葉遣いで話すことができる力を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生指講話、生指通信等で挨拶の励行を啓発していく</li> <li>・常に職員からの声掛けを心がける</li> <li>・登・下校時、職員室への入室時、クラブ活動等あらゆる場面を通じて、全職員による指導を心がける</li> </ul> <p>○自己肯定感を高め、健全・健康な心身を育むよう、心のケアを中心に生徒と対話を丁寧に行う。</p> <p>○「新聞を読もう」の企画を通して、生徒の背景知識を豊かにし、望ましい社会の実現に向けて活動しようとする意欲を喚起させる。</p> <p>○LHRにおける人権学習や学校行事に向かう HR 活動を通し</p>	<p>○グループで話し合った後には発表を行い、課外活動では助け合い、成長していくことを目標に指導した。</p> <p>○部活動、生徒会の挨拶運動等の成果もあり、挨拶の励行は浸透しつつあるように見られるが、まだまだ充分ではない。</p> <p>○教育相談室においては生徒のニーズに合わせて、解決に向けて方向性を共に模索した。</p> <p>○3年関係の先生や管理職の先生に依頼し、計18回実施した。</p> <p>○1学期・2学期の人</p>	<p>※</p> <p>◎</p>

	<p>て、人間の関係の在り方や社会問題に関心を持ち、望ましい集団や社会の実現に向けて活動しようとする意欲や態度を身に付ける。</p> <p>○社会人基礎力向上のために書籍充実に取り組むとともに、新聞や関連図書を広く収集し、情報提供を行う。</p>	<p>権ロングを各ホームルーム正副担任がクラスの状況に合わせて、指導案を活用して予定通り実施した。また日常の生活の中から、人権感覚あふれる学級作りを目指した。</p> <p>○限られた予算の中で書籍充実に努力している。ときには他の図書館から借りて提供もしている。第1回「効果的なPOPを作成するための留意点」第2回「歌を読むたのしみ」をテーマに図書館文化講座を実施した。</p>
--	---	---

### 改善課題

大学入学共通テスト等、今後の大学入試に向けては情報収集に努めるとともに、現在取り組んでいる各種教育活動をより実効性のあるものとして継続・発展させて取り組む必要がある。教育課程については令和4年度からの新学習指導要領の実施に向けて、現在の教育課程の課題整理を行い、新たな教育課程の策定に取り組む。挨拶を教育活動の主軸と考え、学校行事や部活動のさらなる活性化を図る。人権教育を推進し、豊かな人権感覚を育むとともに、スクールカウンセラー等を含めた教育相談・生徒支援体制をさらに充実させていく。

#### (2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>学校全体の組織力の向上</p>	<p>○学年との進路懇談会を通して進路指導部と学年団の意思疎通を図り、お互いに協力して生徒への円滑な進路指導を行う。</p> <p>○授業アンケートを活用し、指導力向上および授業改善に向け、各種研究会や教科研修会へ積極的に参加し指導技術等の向上を目指す。</p>	<p>○ガイダンス・学年進路懇談会・補講など統一的な指導ができた。外部講師を招いての職員進路研修会を11月に実施した。</p> <p>○授業アンケートは6月に実施し、結果についてはフィードバックして改善に取り組んでいる。</p> <p>○アンケート方法および項目をより実効性</p>	<p>◎</p>

	<p>○生徒一人ひとりを尊重し、個に応じた指導に心がけるとともに、日頃から生徒に関する情報共有を行い、個々の事例について連携を図り教員一人が抱え込むことのないようチームとして臨めるよう努める。</p>	<p>のあるものに変更するための検討を行う。</p> <p>○各学年・保健室と連携を図り状況の把握に努めた。また保護者の対応には担任・学年主任と共に面談に同席を重ねた。</p>	
<p>開かれた学校づくり</p>	<p>○学年だよりの配布および学年別保護者進路説明会の実施を通して、保護者との情報共有を目指す。</p> <p>○PTA活動や学校関係者評価委員会を通して、保護者や地域住民の学校運営への参画を進める。</p> <p>○ホームページなどを通じて学校の取組や部活動を含む生徒の様々な活動情報を発信することにより、積極的な情報提供に取り組むと同時に、多様な意見を聞くように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等の掲載回数5回以上</li> </ul> <p>○授業公開の取組を進める。</p> <p>○新着図書案内を家庭にも配布することで保護者にも図書館を</p>	<p>○学年だよりは7～10号発行。学年別保護者進路説明会や保護者懇談会も予定通り実施した。</p> <p>○PTA活動では文化祭に参画した。登校指導は継続中。大学見学会は10月に行う予定だったが台風のため中止した。ゴミゼロ運動は体育祭の日程変更に伴い中止。学校関係者評価委員会は2回実施し、年度末にも実施予定。</p> <p>○学校の取り組み紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ記事の更新回数:50回</li> <li>・デイリーニュースの更新回数:41回</li> </ul> <p>○修学旅行時のしおりなどの資料をHP上に掲載し、生徒保護者の利便性を図った。</p> <p>○長期更新されていなかった部活に働きかけ、内容の刷新を図った。</p> <p>○授業公開は5月と10月に実施した。</p> <p>○「新着図書案内」</p>	



	<p>開放していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 10 号まで発行予定</li> </ul> <p>○不安を抱える保護者のためにも教育相談室の活用及びカウンセラーの紹介など、広報活動に努める。</p>	<p>NO9 まで発行、HP でも案内している。保護者にも本の貸し出しができることを PR し、実際に利用もあった。保護者会期間中は保護者にも図書館を開放し、利用していただいた。</p> <p>○広報活動の効果のためか保護者の利用が増加した。また教育相談担当も保護者の面談や電話での相談に対応している。</p>	
目指す姿の具現化	<p>○目指す学校像の具現化に向けて、本校のあるべき姿や目指すべき方向性等について様々な場で対話を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ビジョン委員会の開催:年6回以上</li> <li>・学力向上推進委員会の開催:年6回以上</li> <li>・校長と教職員との面談:一人平均年3回以上</li> </ul>	<p>○様々な場での対話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ビジョン委員会:14 回開催</li> <li>・学力向上推進委員会:5 回開催</li> <li>・校長と教職員との面談:全員と 3 回実施</li> </ul>	
働きやすい職場づくり	<p><b>【総勤務時間縮減について】</b> ( )は H30 年度実績</p> <p>○成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月 80 時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数を 50%削減 (73 人/年)</li> <li>・時間外労働を一人あたり月 1.5 時間削減 (28.9 時間/月)</li> <li>・休暇取得を年 0.5 日増加 (9.6 日/年)</li> </ul> <p>○活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日を月 1 日実施し、設定した日の定時に退校できる職員の割合 80%を目指す。(63%)</li> <li>・部活動休養日を週 1 日設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合 100%を目指す。(92%)</li> <li>・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合 85%を目指す。(77%)</li> </ul>	<p>○成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月 80 時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数:62 名</li> <li>・時間外労働一人あたり:29.7 時間/月</li> <li>・休暇取得状況:一人あたり 18 日</li> </ul> <p>○活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日を月 1 日実施し、設定した日の定時に退校できた職員の割合:73%</li> <li>・部活動休養日を週 1 日設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合:95%</li> <li>・放課後に開催され 60 分以内に終了した</li> </ul>	※

		会議の割合:80%	
--	--	-----------	--

### 改善課題

教職員の情報共有と共通理解をさらに図り、学校の特色化を進め、積極的な情報発信を行うことが大切である。またPTA、同窓会、地域、関係教育機関との連携・協力をさらに密にし、双方向での取り組みを通じて学校の活性化を目指す必要がある。働き方改革を推進し、教職員が元気で生き生きと仕事のできる環境を整備することが重要である。総勤務時間縮減については教育活動全体を見据え、今後も引き続きしっかりと取り組んでいく。

## 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	年度当初に立てた取組計画や設定した指標に対して、生徒・教職員ともに一丸となって取り組んでおり、それぞれに成果は上がっていると考え。一方、生徒においては様々な場面を通じて自己肯定感の育成を図ることが重要であり、教職員においては余裕を持って業務に当たれるよう、ワークライフバランスを考えて取り組んでいただきたい。
---------------------	--

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	今後の大学入試に向けて情報収集に努め、現在取り組んでいる各種教育活動をさらに継続・発展させて取り組むとともに、教育課程については継続的に検討を行う。挨拶の励行を教育活動の基本に据え、人権教育の推進ならびに生徒支援の充実を図り、学校教育全体のさらなる活性化につながるよう、取り組んでいく。
学校運営についての改善策	教職員間の情報共有と共通理解の一層の推進により、ベクトルを合わせて取り組むよう努めるとともに、開かれた学校づくりのため情報発信と関係機関等との連携に努める。豊かな教育活動を行うためにも、ワークライフバランスを考え、総勤務時間縮減について取り組み、働きやすい職場環境を構築する。